

<2015年5月：今月の注目企業>

○ゴールデンダンス株式会社

- ・設立：2002(平成14)年
- ・資本金：4,400万円
- ・代表：代表取締役社長 中谷 明子
- ・事業内容：骨伝導製品(通信機器、補聴器、振動子)の開発・製造・販売
- ・特筆事項：
 - 2009年 骨伝導ヘッドホン「オーディオボーンアクア」、米国家電協会(CEA)主催、**インターナショナルCES2009イノベーションアワード**に入賞
 - 2010年 骨伝導イヤホン「サウンドボーン」が、日経新聞社主催「優秀製品・サービス賞 審査委員特別賞」受賞
 - 2014年 骨伝導素子「阿吽」が、近畿経済産業局の「関西ものづくり新撰2014」に選定
 - 2015年 経済産業省より「がんばる中小企業・小規模事業者300社」受賞



<紹介内容> 骨伝導通信機器

<注目点>

- ・ゴールデンダンス株式会社は、鼓膜を介さず聴覚器官(蝸牛)に直接音を振動として伝える「骨伝導技術」を応用し、ヘッドホンや音声通信機器を開発する専門メーカーである。
- ・通常、音を聴くときには鼓膜を使って音の振動を聴覚神経へと伝達します。(空気伝導)
 「骨伝導」は、空気ではなく「骨」を介して、直接、音の振動を聴覚神経に伝える技術です。
- ・骨伝導の最大の特徴は、次の点です。
 - ① 騒音下でも、明瞭に聞こえる。
 - ② 音漏れが殆ど無く、気にならない。
 - ③ 鼓膜への負担が軽減され疲れにくい。

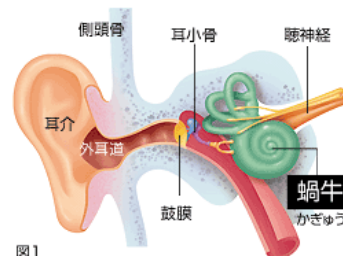
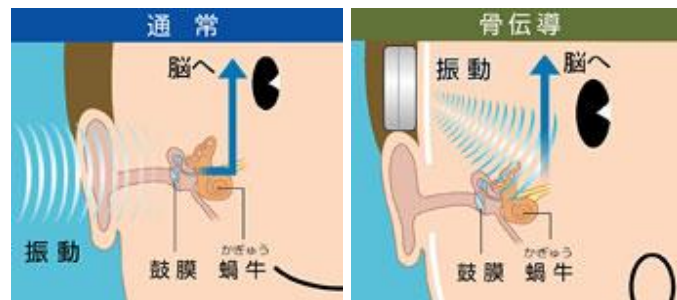


図1



<製品展開>

- 骨伝導技術の特徴を生かした新規開発により、用途が益々広がっています。
- 骨伝導通信システム(阿吽(あうん)シリーズ)
 ヘルメットに装着し、騒音下でも耳栓をして通信できるため、**工事現場等での安全性が確保できる。**
 「阿吽-H」は、骨伝導で送受信するタイプで、発信者の骨振動のみを拾って受信者に伝えるため、周囲の騒音に影響されず音声を送信できます。
 「阿吽-M」は、骨伝導マイクの替りに高性能マイクを使う事で、より鮮明な送信が可能です。
- 骨伝導イヤホン(サウンドボーン)
 近年、音楽を楽しむ方々の間でも問題となっている「ヘッドホン難聴」。
 骨伝導により音漏れもなく、鼓膜を守りながら好きな音楽を楽しむことができるので、**公共の場での利用に最適**です。
- 骨伝導イヤホン+集音器(イヤースニックイン)
 高性能骨伝導振動素子を使用したイヤホンと集音器をセットにして、会話の補助として**耳が遠くなった方のサポートに有効**で、病院、介護施設等での利用が拡大しています。



サウンドボーン



イヤースニックイン



医療機器製造業、第二種医療機器製造販売業を取得。

現在、複数の特許も申請し、医療機器分野においても研究開発を行っています。

<連絡先>

〒536-0001 大阪市城東区古市3-22-19 (担当) 小松和美

TEL ; 06-4255-3030 FAX ; 06-4255-3036

e-mail : office@goldendance.co.jp URL : <http://goldendance.co.jp/>